

## 施策目標ごとの指標の考え方

### 1. 指標設定の目的

前期基本計画期間中に施策目標単位で行う施策評価の基本となる指標を設定することで、中長期的なPDCAサイクルを回すとともに、「何を目指すのか」を明確にすることで、重点的な事業への選択と集中に繋げる。

### 2. 指標設定の方針

上記目的のために次の通り指標を設定する

- ・ 施策目標（案）13について5年間の達成目標として指標を設定する
- ・ 1つの施策目標について3～6個程度の達成指標を設定する
- ・ 客観的な数値が望ましいが、アンケート等の主観の統計数値も可能とする。ただしアンケートの場合は設問について回答者の解釈の幅はできるだけ生まれないように工夫する。

### 3. 指標設定の基準

指標については、次の3点に留意するが、それぞれの基準は必ずしも並立するものではないため、バランスを図り適切な指標を設定する。

#### 【①施策目標の達成状況を測るものとして適切か】

- ・ 取り組み状況を表す「アウトプット」ではなく効果を表す「上位アウトカム」に近い
- ・ 目指す目標を象徴的に表している
- ・ 市民にとって良い状態や具体的な効果を表している

#### 【②施策と繋がっているか】

- ・ 事業のアウトプットからのつながりが明確
- ・ 市の実施する施策以外の外的要因による影響が少ない

#### 【③定期的に取得可能な指標か】

- ・ 指標の考え方が期間中に変わらない
- ・ 計画期間中、定期的に取得される
- ・ 指標の取得にかかるコストが適切

### 4. 実施計画における指標の設定について

毎年度の実施計画で短期的なPDCAサイクルを回すため、事務事業の性質にあわせて適宜指標を設定する。この指標はアウトプット指標もしくは低位のアウトカム指標になる。